

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣桜高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年2月6日(月) 13:30~14:30
- 3 開催場所 大垣桜高等学校 1号館1階 115教室
- 4 参加者

| | | |
|-------|--------|---|
| 会 長 | 古田 義広 | 大垣市墨俣地域事務所 所長 |
| 副 会 長 | 堀 あゆ美 | 岐阜県社会福祉協議会 生活支援部 主査 (欠席) (※書面にて意見徴収) |
| 委 員 | 高木 久 | 墨俣一夜城(歴史資料館) 館長 |
| | 浦野 真由美 | 育友会長 |
| | 西川 守 | もえぎの里 柳津老人デイサービスセンター 施設長 |
| | 馬淵 琴美 | 墨俣児童館 館長 |
| 学 校 側 | 安田 ゆかり | 校長 |
| | 柴田 幸美 | 教頭 |
| | 安江 博 | 教頭 |
| | 郷 絵美 | 教務主任 |
| | 須藤 亜由子 | 生徒指導主事 |
| | 西村 佐英子 | 進路指導主事 |
| | 高橋 路子 | 家庭部長 |

5 会議の概要(協議事項等)

- (1) 令和4年度 取組の成果と自己評価
 - ・スクール・ポリシー、学校経営計画
 - ・教務部
 - ・生徒指導部
 - ・進路指導部
 - ・家庭部
 - ・生徒の活躍について
- (2) 本校に対する委員からの提言

意見

- 意見1 ICTを活用した授業は、先生、生徒、双方のスキル向上により以前よりスムーズになったと感じる。生徒の理解力をより深めるために手段としての活用を今後も期待する。
- 意見2 コロナ禍の影響による物理的な距離（ソーシャルディスタンス）が日常の友人関係や大人との関わり方にも変化をもたらしていると感じている。大変デリケートな部分ではあるが、引き続きの指導をお願いする。
- 意見3 「百聞は一見に如かず」生徒が自身で見て体験することにより、将来のイメージはぐっと膨らむと思う。自身も高校での様々な出来事があったからこそ、現在の仕事に就き、仕事への向き合い方も考えられるようになった。知識と技術で自信を付けて社会に送り出してほしい。
- 意見4 学校運営協議会の委員を引き受けるようになってから、大垣桜高校のホームページをよく見るようになった。卒業生や地域の方への桜高校ブランドをアピールする機会でもあるので、ホームページの更新はこまめに実施してほしい。
- 意見5 部活動や委員会活動は、クラスの枠を超えたつながりができる。学校行事を楽しみにしている様子も伺える。コロナ禍での行事の実施は感染対策等、ご苦勞はあると思うが、充実した3年間となるように、生徒を応援してもらえると嬉しい。
- 意見6 今年度も大きな災害がなく、生徒や先生方も安心して過ごせたと思う。「自分の命は自分で守る」ことは当たり前でありながら意識が薄れがちになる。繰り返しの訓練や指導を望む。
- 意見7 生徒の多様化は、保護者の考え方と関係していると感じている。全ての意見を取り入れることは難しいし、先生や職員の負担も大きくなるため、育友会役員との連携を大切にし、進めていかれるとよい。
- 意見8 卒業研究作品発表会を拝見した。3年生の生徒の皆さんの学びが発揮されており、素晴らしい発表であった。伝統が今も変わらず続いている事を実感できた。4つの学科の個性が生かされるよう、今後も日々の授業、課外活動、家庭生活など様々な場面での指導をお願いしたい。

6 会議のまとめ

今年度の学校運営協議会は、3回とも参集して実施することができた。授業参観や卒業研究作品発表会等、生徒たちの活躍や日々の取組の成果を参観し、成果や課題を協議し意見をもらうことができた。委員より得られた意見を職員会議等で周知し、今後の教育活動に生かしていきたい。